

大垣市制100周年記念事業
市民提案事業 親子ふれあいコンサート

平成30年9月29日(土)大垣市制100周年記念市民団体等提案事業の一環として、本学提案の「親子ふれあいコンサート」が大垣市市民プラザで開催しました。

台風の接近と重なり、開催も危ぶまれましたが、幼児とご家族約400人が来場されました。

手作り楽器等コンサートグッズを制作した後、いざコンサート会場へ。本学ウインドアンサンブルの軽快な演奏と本学学生の演出に合わせて、口ずさんだり手作り楽器を鳴らしたりと、観客とステージが一体となり楽しいひと時となりました。



コンサートグッズ「楽器(マラカス)」作り コンサートグッズ「うちわ」作り



コンサート風景

第15回 こども祭

平成31年1月20日(日)に本学で開催したところ、あいにくの空模様にも関わらず、約1,000人の方々が来場されました。学生らは日頃の学修成果を発揮し、遊びコーナーを提供したり、音楽劇や演奏を披露し、訪れた子どもたちやご家族を楽しませました。今年はスペシャルゲストとして、NHK Eテレ出演の谷本賢一郎さんによるファミリーコンサートも行われ、会場は大いに盛り上がりしました。



Information

行事日程 ■平成31年度主な行事(前期分)

入学式……………4月3日(水)
オリエンテーション……………4月1日(月)～5日(金)
前期授業……………4月8日(月)～7月29日(月)
前期定期試験……………7月30日(火)～8月5日(月)

■オープンキャンパス……………4月27日(土)、5月26日(日)
6月15日(土)、7月7日(日)
7月28日(土)、8月24日(土)
9月14日(土)

人事短信

●採用



事務局 大野 由佳
(平成30年9月1日付)



事務局 吉村 征洋
(平成30年12月1日付)



事務局 寺田 尚子
(平成31年2月1日付)

●退職

看護学科 教授
伊藤 恒子(平成30年9月30日付)

事務局
大平 昌宏(平成30年11月30日付)

事務局
小松 由佳(平成30年12月31日付)

大垣女子短期大学
OGAKI WOMEN'S COLLEGE

〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109
TEL.(0584)81-6811(代) FAX.(0584)81-6818 <https://www.ogaki-tandai.ac.jp>

【学科構成】幼児教育学科・デザイン美術学科・音楽総合学科
歯科衛生学科・看護学科

第三者評価

学校教育法に基づき、文部科学大臣認証評価機関により受ける認証評価。
平成24年度において認証評価を受けた結果、基準をすべて満たし、平成17年度に
続き、「適格」と認定されました。



マスコットキャラクター
みずっきー



ACCREDITED
2012

大垣女子短期大学通信
みずぎ 2019 春号
No.42
発行日/平成31年3月1日
編集/広報委員会
発行/大垣女子短期大学
E-mail info@ogaki-tandai.ac.jp

大垣女子短期大学 通信

みずぎ

2019
春

No.42



CONTENTS

特集	研究室から……………11
卒業研究&発表……………2	新聞掲載記事拝見……………12
学科だより……………4	社会的活動の記録……………15
学友会だより……………7	TOPICS……………16
CLUB ACTIVITIES……………8	Information……………16
在学生インタビュー……………10	

特集

幼児教育学科
卒業研究&発表



巻頭特集 幼児教育学科 卒業研究 & 発表

学科長
メッセージ

卒業研究発表について

幼児教育学科 学科長・教授 松村 齋

本学科では、幼児教育(福祉)に関わる分野を、2年生では「子ども基礎研究Ⅰ・Ⅱ」、そして3年生では「子ども研究Ⅰ・Ⅱ」を経て研究を深めます。研究は単なる論文を仕上げるのが目的ではなく、自ら探究心をもち、その成果を現場に還元することを目的としています。ゼミは、7つの分野で構成されており、学生は自らの研究テーマに基づき、教員の指導のもと活動を進めていきます。内容は、幼児教育の分野にとどまらず、福祉や子育て、特別支援教育等、多岐に渡ります。大勢の後輩や教員が見守る中、これまで苦勞し積み上げてきた研究成果を論理的に展開していく学生の主体的な姿は、将来、現場で必要とされる保育者としての実践力向上に大いに役立つと確信しております。



2年次

子ども基礎研究Ⅰ(前期) 子ども基礎研究Ⅱ(後期)

2年次前期は、学内にある子育てサロン「ぶっぷぁ」に参加して、深く知りたいことや身につけたいことを観察したり、体験的に学びながら保育者としての実践力を高めます。後期は、それまで、学んできた知識や技能を基にして、自分のテーマを選び、記録や振り返りを行いながら研究レポートを作成します。



▲子育てサロンでの体験的な学びは研究テーマを探る場でもあります。

学生の声

幼児教育学科2年 瀨瀬 知佳

実習や「ぶっぷぁ」への参加の中で親子の関係を観察していると、子どもとスキンシップを心掛けている保護者が多くいることに気づきました。そのことから「親子の愛着関係」をテーマにしてレポートをまとめました。



3年次

子ども研究Ⅰ(前期) 子ども研究Ⅱ(後期)

幼児教育学科での3年間の学びの集大成として、学生自身が様々な保育の分野から研究課題を選び、それについての調査・検証あるいは作品制作を通して結果等を考察し、文書にまとめます。保育者として現代における諸課題に取り組む姿勢を磨き、研究の方法を身に付け、さらに論文(研究報告書)作成の力を養っていきます。



▲平成29年度卒業生の論文集。



▲研究活動を通して保育者としての礎を築きます。



▲指導教員7名のゼミに分かれて研究を進めます。

幼児教育学科では、毎年1月に卒業研究発表会を行っています。これは、実習や研修、子育てサロンなど保育現場での体験的な学びの中での気づきや疑問から、自らのテーマを設定し、研究を進めていく取組です。

3年制の教育課程だからこそできる研究活動において、基礎から応用、実践へと3年間の学びの積み上げを形にして表すことで、身につけた保育力を実感することができるのです。

今回は研究活動のスタートから発表当日までをご紹介します。



発表会

ポスターセッション

平成31年1月23日(水)

4月に各自がテーマを決めて研究を始めます。9月の幼教合宿で中間発表を行い、12月には論文にまとめます。卒業記念行事としての1月の発表会では、研究を模造紙1枚のポスターにして掲示し、1、2年生や教職員に内容を説明して質問を受けるセッションを行います。スーツをまとう3年生の姿は凛々しく充実感があり、後輩のあこがれでもあります。



▲3年生にとっては集大成。1、2年生は先輩の発表に熱心に耳を傾けます。

研究事例の紹介

研究
テーマ

保育現場での帰りの会について～帰りの会の必要性とは～

幼児教育学科3年 中西 真唯



研究内容

私はこれまでの保育実習や幼稚園教育実習等で何度も帰りの会を見てきましたが、その必要性を考えたことはなく、何の気なしにその場を見ているだけでした。しかし、保育現場で毎日欠かさず行われている帰りの会には絶対に意味があると思い、3年生で行う保育実務研修の研修園で実際に行われている帰りの会を1か月間観察調査をして、まとめ、考察しました。



研究を通しての学びについて

この研究を通し、帰りの会の必要性を沢山見つけることができました。その中でも1番大事にするべきことは、「帰りの会は明日への期待や希望を持つことができる場であること」だと思いました。帰りの会でその日の楽しかったことを振り返り皆で共有しあうことで「また〇〇したい」「楽しみ」と子どもたちの中に期待が生まれ、園での生活が楽しみになると思います。就職後も保育者として大切にしていきたいです。



指導教員の声



幼児教育学科 准教授 今村 民子

毎回のゼミの時間は、季節の話題から周りを見つめ直し、深いテーマにせまっています。そして、研修園など自分のフィールドでの研究を大切にしよう学生に伝えています。それは将来現場に立った時、目の前の子ども達から学ぶ姿勢を持つ先生になってほしいからです。今年も全員期待以上の良い内容でうれしい限りです。



学科だより

5学科からの旬な情報をお届けします。

幼児教育学科

学科トピックス

幼教合宿 大阪市(全学年) 9月20日(木)・21日(金)(1泊2日)
1日目は大阪市内のホテルで各学年の学修成果発表会を行いました。夕食後には2年生のパネルシアターとエプロンシアター発表、最後は全員のゲームレクで盛り上がりしました。2日目はユニバーサル・スタジオ・ジャパンを見学して楽しい時間を過ごすことができました。



客員教授 サトシンさんの特別講義(全学年) 11月14日(水)



「絵本・おてて絵本の魅力について」
絵本のおもしろさや大切さとともに、作った絵本にこめた想いを知ることができました。読み聞かせや、「おてて絵本」の実演で、笑いっぱいサトシンワールドに巻き込まれて、保育者として大切にしたい「楽しい大人になる」ことを学びました。

学科の取り組み・行事

- 10月27日(土)・・・みずき祭学科企画「WA!HA!HA! 笑顔の輪」
- 11月21日(水)・・・就職支援 卒業生体験談(1年)
羽島郡岐南町 うれしの東保育園保育士 土本 真由先生
福祉施設職員講話(2年)
揖斐郡大野町 樹心寮施設長 神谷 俊介氏

「みんなあつまれ!わんぱく親子体操」(大垣市制100周年事業)参加 12月2日(日)

1年生13名が受付、自由遊びなどのアシスタントとして参加しました。親子体操では、講師であるNHK「おかあさんといっしょ」10代目体操のお兄さんこと佐藤弘道さんの演技、話術のすばらしさに、おねえさんとして参加した学生たちが大感激でした。



「あつまれ!キッズピア!!2018」参加(3年) 10月14日(日)

キッズピア大垣交流サロン主催のイベントに参加し、希望する未就園の子どもたちにシールで「フェイスペイント」を行いました。仮装して親子で商店街の協力店を訪れるハロウィンイベントに華を添えました。



デザイン美術学科

学科トピックス

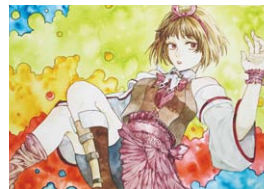
今年は受賞ラッシュ! みなさんおめでとうございます!!

在学生の活躍

第44回 現創展 キャラクターアート部門



金賞
三宅 佑佳(1年)
「すすめ、すすめ」



銅賞
福沢 詩苑(2年)
「カラフルパステル」

銅賞
井戸 花(1年)

大垣市美術展

- 議長賞 岡田 菜摘(卒業生)
- 優秀賞 福沢 詩苑(2年)
- 入賞 石川 美穂(2年)
久保田 夏季(2年)
須崎 すみれ(2年)



奨励賞 廣瀬 妙子(2年)「和」

おすすめの1冊コンクール イラストPOP部門



ゴールドイラスト賞

井戸 花(1年)「僕は上手にしゃべれない」

第19回百合姫コミック大賞

(コミック百合姫2018年8月号)

奨励賞(増殖賞) 「明日は言えるかな」(P.N 純玲)

りばんマンガスクール+ (りばん2018年12月号)

もうひと息賞

「まほうの手」(P.N 伊瀬 友香)



第1回 りばん4コマまんがコンテスト

入賞 「額縁の主さん」(P.N 伊瀬 友香)

卒業生の活躍

第41回 月刊シリウス新人賞

コミック販売部特別賞

牧村 祐奈
「いつも不機嫌な焰君の事件簿」

第83回 BE・LOVEマンガ大賞

佳作 牧村 祐奈「青をたどる佛」

学科の取り組み・行事

- 9月6日(木)・7日(金)・・・マンガ原稿持ち込み研修(東京)
- 9月21日(金)・・・学外研修(奈良)
- 10月27日(土)・・・みずき祭 WACOM大型タブレット体験
- 11月14日(水)・・・NHK岐阜みのひだ情報局にサークル「aim」出演



音楽総合学科

学科の取り組み

今年度も各コース、地域の学校や施設・イベントなど多くの演奏の機会をいただき社会貢献にも取り組んでおります。また、大垣市制100周年記念おがきの歌「これまでからこれからへ」の吹奏楽バージョンの収録にも参加させていただきました。来年度は、

本学50周年・管打楽器リペアコース開設10周年の記念すべき年になります。今後も地域に貢献できる学科を目指し、より専門性を高める新しいカリキュラムの導入や学内外の研修を充実させ教育に力を注いでまいります。

学科トピックス

ピアノコース・電子オルガンコース

第49回 東海北陸社会教育研究大会 岐阜大会 オープニングアトラクション 依頼演奏

10月18日(木)、東海北陸各県の社会教育関係者の方々が集まる研究大会のオープニングアトラクションとして、電子オルガンを演奏しました。開催市である大垣市の名所や地域の活動を紹介する映像を学校法人平野学園さんが作製し、その映像に合わせて演奏しました。映像と音楽が見事に合い、大変好評をいただきました。



ウインドアンサンブル、管打楽器リペアコース

第24回ウインドアンサンブル定期演奏会

大垣市民会館にて第24回ウインドアンサンブル定期演奏会を行いました。老若男女を問わず、多くのお客様にお越しいただき、大盛況のもと終了いたしました。2年生にとっては学生生活最後の演奏会、各々たくさんの思いを込めて演奏しました。卒業後は、全国各地でそれぞれ活躍されることを祈念いたします。

音楽療法コース

障害者通所施設での実践の様子

今年度も積極的に学外の施設にて実習や演習を行いました。12月にはクリスマスソングを中心としたプログラムを作成して施設を訪問しました。学内では外部講師を授業に招きドラムサークルについて実際に体験したり、ダウン症の会代表の方のお話を聴くなど、様々な内容を学びました。



管打楽器リペアコース

野中貿易(株)による特別講義

前半は中西氏によるセルマーサクスのタンボ合わせの方法やラッカーの特性などを講義いただき、後半はセルマークラリネットの商品説明にクラリネット奏者の田中正敏先生の演奏をまじえながら機種による音色の違いなどを講義いただきました。来年度もメーカー様のご協力で特別講義を行ってきたいと思います。



2019年度のスケジュール予定

- 定期演奏会 2019年10月12日(土) 13:00開場/13:30開演【大垣市スイトピアセンター音楽堂】
- 卒業演奏発表会 2020年1月29日(水) 時間未定【大垣市スイトピアセンター音楽堂】
- 第25回ウインドアンサンブル定期演奏会 2020年2月16日(日) 13:00開場/13:30開演【大垣市民会館】

歯科衛生学科

学科の取り組み

後期になり、3年生は3月初旬の国家試験合格に向け、一生懸命に勉強に取り組んでおります。2年生は初めての臨床・臨地実習を迎え、歯科医療の現場に臨んでいます。1年生は学内実習・講義等で基本的な知識・技術を身につけているところです。

学科トピックス

学外研修旅行【(株)モリタ工場見学&京都市内散策】 9月13日(木)

2年生が京都へ日帰り旅行に行ってきました。



卒業研究発表会(全学年)

10月4日(木)

「卒業研究」を選択した3年生によるグループ研究の成果を発表、活発な質疑応答もありました。



市民の健康広場

10月21日(日)

3年生が地域住民への個別ブラッシング指導を行いました。

宣誓式

11月13日(火)

2年生が11月下旬より学外実習に臨む宣誓を行いました。



学外実習報告会(2、3年生)

11月16日(金)

学外実習を終えた3年生の報告とこれから実習に臨む2年生に対する申し送りを行いました。

洋食マナー講座

12月12日(水)

1年生が洋食のマナーを学びました。



第28回歯科衛生士国家試験

3月3日(日)

名古屋女子大学で3年生が第28回歯科衛生士国家試験を受験しました。合格発表:3月26日(火)



学科だより

看護学科

学科トピックス

ホームカミングデイ

11月24日(土)

「新人看護師の成長をチームの力につなげよう!」をテーマに、看護学科ホームカミングデイを開催しました。AMは第2期生7名・第3期生16名、計23名が集い、1年目・2年目看護師としての「現状」と「これから」についてグループワークと発表を行いました。PMは臨床看護師34名が加わり、ビジネスプレーンの永井則子先生の講演「"Learning Innovation"～体験と対話のプロセスからの学習」を聴講しました。新人看護師の悩みはつきないものの、「これから看護師として頑張ろう」という卒業生の前向きな意見が聞かれました。また、参加した指導者からは、今までの自己の新人教育を見直す機会となったと好評でした。



市民公開講座

11月17日(土)

看護学科主催の市民公開講座「認知症予防－音楽と運動－」を開催しました。茶道の師範のご指導のもと、看護学生ボランティアによる抹茶の淹め、大井内科の渡辺幸夫先生による認知症予防についての講演あり、本学の音楽総合学科ウインドアンサンブルと参加者のコラボによるなつかしの曲の大会



唱あり、と盛りだくさんの企画。さらに、名賀志石保認定看護師による認知症予防のための運動についての実技講演もあり、総勢122名の参加者は、楽しみながらめいっぱい認知症予防についての理解を深めることができました。

大垣市民病院災害トリアージ訓練

10月28日(日)

大垣市民病院主催の災害トリアージ訓練に今年も模擬患者として看護学生と教員が参加しました。

初めて参加した学生の声

右腕の切り傷を想定したムラージュ(特殊メイク)がリアルで、本当に痛みがあるように感じました。災害時の患者さんの不安な思いについても疑似体験できました。こんなときだからこそ看護師には患者さんの目線に合わせた温かな関わりをしてほしい。災害時看護について学ぶ機会となりました。 石原 帆乃香(1年生)



学生の様子

1年生

2月に初めての臨地実習『生活援助実習』が行われます。少しでも自信をもって実際の患者様に向かうことができるよう、学内で学んだ知識・技術を演習で確認しています。実技試験、実習を乗り越え、一歩ずつ確実に成長しています。



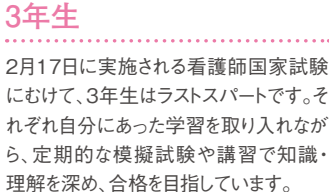
2年生

11月下旬から成人看護学実習および老年看護学実習の2つの領域の臨地実習が始まっています。臨地実習では、看護学生が1人の対象者を受け持たせていただき看護過程の展開を学びます。成人式を迎え、看護学生としてだけでなく、一社会人としても飛躍の年です。



3年生

2月17日に実施される看護師国家試験にむけて、3年生はラストスパートです。それぞれ自分にあった学習を取り入れながら、定期的な模擬試験や講習で知識・理解を深め、合格を目指しています。



総合教育センター

5学科交流を教育に活かして

総合教育センター長・教授 茂木 七香

本学における教育の改善と向上を目的として総合教育センターがおかれてから平成30(2018)年で10年目となりました。その間に、大学が置かれている状況も変化しましたが、教育の質保証や総合的な学修支援など大学に求められるものはますます多岐に渡っています。平成30年度の教養教育では5学科交流に特に力を入れて取り組みました。1年生全員が受講する教養キャリア基礎演習I・IIでは前期後期ともに5学科混合グループ学習を行い、学科ごとの特色を知るとともに自らの目指す道を再認識し、新たな目標を設定する姿が見られました。その他の教養科目(女性学、心理学等)でも5学科混合グループ学習を多く取り入れ、学生同士が学科を超えて交流を深めようとする動きが生まれました。

また、学生が授業の改善に参画する「学生FD」も新たに発足し、平成31年3月の第3回短大フォーラムでは学生たちが5学科交流の授業案を考案した取組についてプレゼンテーションを行う予定となっています。今後も学生の声を取り入れながら本学の学生に合った教育を充実させるために活動していきます。

IRセンター

今後さらに求められるIR機能の充実

IRセンター長・教授 矢田貝 真一

平成30(2018)年11月に文部科学省中央教育審議会は、『2040年に向けた高等教育のグランドデザイン』という答申を発表し、今後の社会変化の展望、将来に必要とされる人材像、これから高等教育の目指すべき姿等を示しました。この答申を踏まえながら本学の将来を考えてみると、高等教育機関である短期大学としての役割を確実に果たしていくことはもちろん、次のことが重要になると考えられます。

第一に、あらゆる世代が学べる「知の基盤」となることを目指すこと。第二に、多様と柔軟性をキーワードに、学生や教員、教育プログラムやガバナンス、大学としての「強み」などをいかした教育・研究体制づくりを図ること。第三に、教育の質の保証と情報公表を行い学修者本位の教育への転換を確実に進めていくことなどです。

特に教育の質保証については、本学では平成28(2016)年度からIR(インスティテュショナル・リサーチ:大学において教育機能の改善や経営改善等の必要から行う教育・研究に関する組織的調査)のためのセンターを設置して取組を進めてきています。この答申の見通す高等教育のあるべき将来の姿に向けて、本学ではIRの機能を一層充実させていきたいと思います。

学友会だより

メンバー紹介

平成31年度 大垣女子短期大学 学友会委員

岩城 見侑
[音楽総合学科](会長)

小林 恵里花
[幼児教育学科](副会長)

河合 璃乃
[デザイン美術学科](副会長)

深尾 奈月未
[看護学科](会計)

工藤 真由
[幼児教育学科](書記)

脇川 咲来
[デザイン美術学科]

川端 理奈
[音楽総合学科]

清永 彩也花
[音楽総合学科]

大西 敦子
[歯科衛生学科]

齋藤 玲
[歯科衛生学科](会計監査)

玉元 綾佳
[看護学科](会計監査)



よろしくお願いします!

平成30年度 活動のあしあと

4月6日(金)

FSC(ファーストステップキャンパス)クラブ紹介



新入生の大学生活が、課外活動の面でもより充実したものとなるよう、クラブ紹介・学友会の活動についての紹介などを行いました。各クラブの趣向を凝らした演出に、みずきホールは大いに盛り上がりしました。

7月6日(金)

セタミニライブ2018

みんなの願い事を書いた短冊いっぱい、の笹飾りの下で、クラブや有志等6組が歌や楽器演奏を披露、恋メロや元気の出る歌を聴き約90人が一体となりました。



10月26日(金)

みずき祭前日祭



ジャルジャルさん、尼神インターさんと一緒に記念撮影

学友会企画「OWC紅白歌合戦2018～歌で感謝を伝えよう～」を開催しました。みずき祭50回目ということで各学科から二組以上に参加してもらいました。歌を通じて感謝を伝え盛り上がりしました。その後のゲストライブには、ジャルジャルさん、尼神インターさんが出演してくださいました。

10月27日(土)

みずき祭

テーマ「WA!!～50年分の愛と感謝を伝えよう!!～」



当日、卒業生や家族、地域の方など1,558名の方に来場いただき賑わいのあるみずき祭となりました。



※寄付金:165,700円(被災地義援金として平成30年11月28日に寄付)

募集

1年生の中から私たちと一緒に学友会活動を盛り上げる学友会委員メンバーを募集しています。新しい自分への第一歩です! 2年生があなたを心待ちにしています!!

バスケットボール

- 1 あまり活動することはなかったですが、先輩・後輩と関係なく運動を楽しむことができました。
歯科衛生学科 滝川 美羽(2018年度クラブ長)



軽音部

- 1 部員が1人もいないというところからのスタートでどうなるかと思ったけど、無事みずき祭も協力しながらできたことです。皆の協力がなかったら完成しなかったと思います。
 - 2 皆と仲良くすること。
幼児教育学科 加納 双葉(2018年度クラブ長)
- ★部員と意見を出し合いながら曲を作っていきたいと思います。
音楽総合学科 樋上 穂穂(2019年度クラブ長)



写真

- 1 毎年行っている撮影旅行では、熱田神宮へ行ってきました。他にも今年度初めて新入部員の歓迎会やみずき祭の打ち上げを兼ねた慰労会を行いました。部員も増えみずき祭展示などみんなで協力して行うことができました。
 - 2 仲良く積極的に活動して頑張ってください。
看護学科 小原 佑季(2018年度クラブ長)
- ★明るく楽しく活動することができるように心がけていきます。
幼児教育学科 草野 智恵(2019年度クラブ長)

JAZZ

- 1 昨年度は部員が全員一年生で模索しながらの活動でしたが、日々の活動で新しい曲に挑戦したり、違う楽器に挑戦してみたり、楽しみながらジャズの世界に少しずつ親しむことができました。
 - 2 全員が楽しめたらいいと思います！
- ★メンバーが少ないので楽器未経験の方も大歓迎です！！
音楽総合学科 三澤 佑果(2018年度・2019年度クラブ長)



児童文化

- 1 みずき祭でアンパンマンショーを行い、たくさんの子もたちの笑顔に出会うことができました。部員の団結力も一段と高まり、連携やチームワークの大切さを改めて学びました。
- 2 笑顔と元気を忘れずに頑張ってください。
幼児教育学科 中原 あずさ(2018年度クラブ長)



テニス

- 1 夏に岐阜経済大学と交流会を行い、楽しくテニスをする事ができました。午後からはバーベキューを行い、クラブ内、大学同士での仲を深めることができました。
- 看護学科 大下 里子(2018年度クラブ長)



song&song

- 1 みずき祭で歌の発表をしました。今年は体調不良等で人数は少なかったけれど、少ないなりに観客をどう楽しませるかを心がけました。この発表で、皆で成し遂げる喜びを知りました。
 - 2 歌を愛する気持ちは忘れないで！
デザイン美術学科 清水 風(2018年度クラブ長)
- ★楽しく音楽と共に奏でる歌の魅力を見て、聴いて、知ってほしい。
デザイン美術学科 盛 ふたば(2019年度クラブ長)



イラストコンテンツ

- 1 みずき祭でグッズを販売しました。活動を通じて自分が作ったグッズを誰かに買ってもらえる喜びを知ることができました。また、みずき祭に来て下さった沢山の方々と話をする事ができました。
 - 2 イラストを通じて仲良くね！
デザイン美術学科 清水 風(2018年度クラブ長)
- ★部員同士が楽しく話したりし合えるようなクラブにしたいです。
デザイン美術学科 小椋 友美(2019年度クラブ長)



aim

- 1 みずき祭で、部誌である「aim誌」を販売しました。多くの方に手に取っていただき、とても嬉しかったです。個人作業が多い中、みんなと一つの作品を作り、人に商品として手に取っていただく喜びを学びました。
 - 2 プロを目指し、挑戦し続ける心！
デザイン美術学科 廣瀬 妙子(2018年度クラブ長)
- ★部員一人ひとりが楽しめる活動を積極的に行っていきたい。
デザイン美術学科 藤井 実穂(2019年度クラブ長)

CLUB ACTIVITIES

各クラブ長が「思い出の出来事」や「催し」をお伝えします！

- 1 この1年間の一番の思い出 とそこから得たことや学び
 - 2 [2019年度クラブ長へ] これだけは守ってほしいこと
- ★2019年度クラブ長の抱負



ピアノ・エレクトーンアンサンブル

- 1 ピアノとエレクトーンでアンサンブルをすることで、1人での演奏では味わうことの出来ない「感動」や「喜び」を得ることが出来ました！！
- 2 来年度も楽しく音楽を演奏してほしいです！
音楽総合学科 松平 樹菜(2018年度クラブ長)

ボカロ部

- 1 練習や活動日が今年は多かったですが、部員みんなが参加してくれて、充実したみずき祭での物販・ステージ発表に繋がりました。部の中でのコミュニケーションが多かった1年間でした。
 - 2 新入生の子たちとも仲良くしてね！
歯科衛生学科 黒河内 美月(2018年度クラブ長)
- ★仲間と仲良く楽しく、充実したクラブにしたいです！
看護学科 小林 沙也花(2019年度クラブ長)



体爽部

- 1 8月末にキンボール大会に参加した。1年生にとっては初めての大会という事で緊張している所が見えたが、モットーである「楽しんでやる」ということができた。クラブの中だけでなく、他団体の方と関われる良い時間だった。
 - 2 一人ひとりが楽しめるサークルに！！
幼児教育学科 小松 歩加(2018年度クラブ長)
- ★活動を通してクラブだけでなく地域の方との交流も深めたいです。
幼児教育学科 清水 美穂(2019年度クラブ長)



踊ってみた

- 1 みずき祭・岐阜祭では観に来てくださる方々に楽しんで頂けるようダンスはもちろん演出にも力を入れました。活動を通じて日々の努力の大切さやたくさんの方々に支えられ、応援して頂いていることを実感しました。
 - 2 「努力・感謝・笑顔」を大切に！
音楽総合学科 杉本 莉菜(2018年度クラブ長)
- ★感謝を忘れずに、皆仲良く楽しく笑顔で踊れる部にします！
音楽総合学科 平 涼子(2019年度クラブ長)



バレーボール

- 1 秋季大会での先輩方の引退試合です。2試合ありましたが、先輩方の力で勝つことができました。練習できる日は限られていますが、勝つためにフォーメーションを考えながら練習しました。いい思い出になりました。
 - 2 サークルの出欠席の報告をしてください。
幼児教育学科 西川 亜美(2018年度クラブ長)
- ★人数が少ないながらも集まれる時には集まり、楽しく活動！！
幼児教育学科 今村 真衣佳(2019年度クラブ長)



グリーンサークル

- 1 グリーンカーテンコンテストでは、台風の影響もあり、最優秀賞は逃してしまいましたが、優秀賞という輝かしい賞を頂き、いい思い出となりました。育てた野菜を調理し、共同で何かを成し遂げる楽しさを実感できました。
- ★グリーンカーテンコンテスト 最優秀賞ねらいます！
幼児教育学科 大野 なな子(2018年度・2019年度クラブ長)



卒業を迎える在學生に、大学生活を振り返り、卒業後の抱負を語ってもらいました。

幼児教育学科

就職内定先 安八町職員 職種、仕事内容 保育士



高井 萌花
〈出身校〉岐阜県立大垣商業高等学校
(岐阜県大垣市)

① 本学へ入学した理由、期待していたこと

幼い頃から5つ下の弟の面倒を見るのが好きで、進路決定の時期に保育士になろうと決めました。大垣女子短期大学では、3年間保育についてじっくり学べ、実習、研修、子育てサロンを通して自信をつけて現場に出られると思い入学しました。3年間を通して、保育技術や知識などが身につくことを期待していました。

② 大学での学びを通して成長したこと、身についたこと

3年生になって保育実務研修が始まりました。毎週2日間は12月まで保育園にお世話になり、子どもたちとたくさん関わってきました。1日2回絵本の読み聞かせの時間をいただき、子どもたちの興味を引き出せるような読み聞かせを身につけることが出来、全体的に成長出来た実務研修だったと感じています。

③ 卒業後、社会に出て働くことについての抱負

今はまだ不安が大きいです。大学の子育てサロンや研修で学んだことを生かしていきたいです。また、子どもたちとの関わりや笑顔を大切に、子どもたちだけでなく、保護者の方々とも信頼関係を築いていけるように寄り添う気持ちを大切にしていきたいです。何事も諦めず最後まで責任を持って前向きな気持ちで頑張ります。

デザイン美術学科

マンガコース

佐々 綾乃

〈出身校〉
愛知県立起工業高等学校
(愛知県一宮市)

就職内定先

有限会社エス・プロジェクト

職種、仕事内容

屋内外広告制作



① 本学へ入学した理由、期待していたこと

私が大垣女子短期大学を選んだ理由と期待していたことは、高校で学んでいたマンガをさらに本格的に学べることからです。出版社への持ち込みなど高校では体験できなかったことをできると聞いて本学へ入学しました。技術面でもペンの使い方、効果線の描き方、人の表情をしっかりと学べたので期待していた以上に多くのことを学べました。

② 大学での学びを通して成長したこと、身についたこと

マンガコースを選んで1本のストーリーを描き上げていく間に、人物の表情や間のとり方、コマのわけ方などマンガに大切なことが分かってきて先生と相談していくうちに成長できたと思います。話の内容も自分の好きなストーリーではなく、読んでもらうことを考えて作るようになりました。感動してもらえるストーリーを作りたいと思えるようになりました。

③ 卒業後、社会に出て働くことについての抱負

卒業後、マンガとはまた違ったことをしますが、マンガと同じように黙々と作業したり、自分の得意なことを会社ですると思えるととても楽しみです。会社では初めてのことがたくさんありますが、挑戦することを大切に、自分ができることを増やしていきたいです。新しいことに挑戦することを楽しみながら頑張ります。

音楽総合学科

音楽療法コース

筒井 菜緒

〈出身校〉
滋賀県立伊香高等学校
(滋賀県長浜市)

就職内定先

株式会社ニチイ学館

職種、仕事内容

介護士、音楽療法士



① 本学へ入学した理由、期待していたこと

小学生の頃はエレクトーン、中学校・高校では吹奏楽をしており、音楽がいつも身近にあったので、音楽に関わる仕事がしたいと思っていました。また、人の役に立つ仕事がしたいとも思っていたので、その両方ができる音楽療法士を志しました。様々な資格が取得でき、現場で音楽療法を学ぶことが多いところが魅力的だったので入学を決意しました。

② 大学での学びを通して成長したこと、身についたこと

今まで知らなかった音楽の知識や音楽療法の技術はもちろんです。自分が演奏したことのないギターや和太鼓の演奏法も身につけることができました。また、初めて会う人や病気や障がいがある方とのコミュニケーションについて学びました。そのおかげで人見知りだったのですが少し克服でき、以前よりも人と会話をするのが好きになりました。

③ 卒業後、社会に出て働くことについての抱負

身内が介護の仕事をしていたので、介護に以前から興味がありました。そこで、介護の仕事をしながらこの学校で学んだ知識や技術を活かし、音楽療法をしていきます。施設を利用される方々の役に立てるように頑張ります。また、地元で就職をするのですが、いずれは地元の方々に音楽療法の良さを広める活動をし、地元に活性化したいと考えています。

歯科衛生学科

岩田 好美

〈出身校〉
愛知県立一宮商業高等学校
(愛知県一宮市)

就職内定先

一般歯科医院

職種、仕事内容

歯科衛生士



① 本学へ入学した理由、期待していたこと

大垣女子短期大学へ入学しようと思った理由は、オープンキャンパスに参加したときに学生と教員との距離が近いと感じたからです。それから、在學生の方の話を聞き歯科衛生士としての技術の習得、向上を目指せると感じたのも理由の1つです。

② 大学での学びを通して成長したこと、身についたこと

大学での学びを通して行動力が身についたと思います。約1年間行われた臨床・臨地実習で自分で考えて行動したり、分からないことや疑問に思ったことなどはそのままにせず自分から質問することができました。また学内での相互実習ではお互いに患者役をすることによって患者の気持ちを考えながら実習を行うことが出来ました。

③ 卒業後、社会に出て働くことについての抱負

初めての就職で不安な気持ちはありますが、3年間で学んだことをいかして頑張りたいです。日々学ぶ姿勢を忘れずに技術の向上を目指して一人の歯科衛生士として患者さんとの信頼関係を築いていきたいです。地域における歯科診療所で口腔の健康管理を支援していけるように頑張ります。

看護学科

長野 真美

〈出身校〉
岐阜県立大垣商業高等学校
(岐阜県大垣市)

就職内定先

大垣市民病院

職種、仕事内容

看護師



① 本学へ入学した理由、期待していたこと

家族の勧めから、看護師という職業に興味を持ちました。大学を選ぶ際にいくつかの学校のオープンキャンパスに参加しました。その中でも大垣女子短期大学は、個別のニーズに応じた教育体制が整っており、自宅から近いことから、学びやすい環境であると感じました。在學生との個別相談で、看護師への気持ちがより一層強くなったことを覚えています。

② 大学での学びを通して成長したこと、身についたこと

学生生活は多くの経験をさせていただきました。課題や実習は辛いと感じることもありましたが、日々の積み重ねが自分の知識へと繋がり、常に向上心を持って取り組む大切さを感じました。臨地実習は、実際に看護展開することで知識を深め、看護を行う楽しさを感じました。この3年間で様々な人と出会い、人として成長することができました。

③ 卒業後、社会に出て働くことについての抱負

4月から看護師として働きます。自分の一つひとつの行動に責任が伴い、不安でいっぱいですが、周りの方々に感謝の気持ちを持つことを大切に、人のために看護師として何をするべきなのか、何ができるのかを明確にしながら日々努力したいです。本学で身に付けた知識・技術を最大限に生かし、私の地元である大垣市で看護師として活躍したいです。

研究室から

中年期の視点から語る発達心理学



総合教育センター長・教授
学生相談室
茂木 七香

Profile

大垣市在住。大学・専門学校非常勤講師、名古屋大学医学部老年科技術補佐員(臨床心理士)等を経て2007年から5年間本学に勤務。退職し4年間米国(アイオワ州)で暮らした後、2017年から再び本学へ。学生相談室でカウンセリングも担当している。趣味は図書館巡りで、出張先での空き時間にその土地の図書館を訪れるのが楽しみ。



新聞掲載記事拝見

新聞に掲載された本学の記事

学び糧に 社会へ巣立つ

大垣女子短大で卒業式



大垣女子短大（大垣市西之川町）の卒業式は、幼児教育41人、デザイン美術31人、音楽48人、歯学部48人、総合60人、歯学部62人の卒業生269人が社会への巣立ちに決意を新たにした。

卒業に際し決意を述べる藤村遥香さん＝大垣市西之川町、大垣女子短大

岐阜新聞 平成30年3月12日付掲載

希望を胸に 273人入学式

大垣女子短大



大垣女子短大（大垣市西之川町）の入学式は、同日新田町の市民会館であり、入学式生273人が期待を胸に入学式に臨み、入学式を終えた。

入学式の学科別内訳は、幼児教育48人、デザイン美術28人、音楽62人、歯学部62人、総合60人、歯学部48人、合計273人。

入学式で、曾根孝仁学長は、これから自立への道を歩まなければならない。与えられたチャンスを生かして、自己の目標に向かって日々努力すると決意を語った。

（河村有都）

岐阜新聞 平成30年4月2日付掲載

ようこそ 大学生の船頭さん



大垣市西之川町、大垣女子短大の学生が、水門川で練習する様子。

大垣市西之川町、大垣女子短大の学生が、水門川で練習する様子。

大垣市西之川町、大垣女子短大の学生が、水門川で練習する様子。

毎日新聞 平成30年4月20日付掲載

学生船頭、たらい舟に汗 水門川で練習



大垣市西之川町、大垣女子短大の学生が、水門川で練習する様子。

大垣市西之川町、大垣女子短大の学生が、水門川で練習する様子。

大垣市西之川町、大垣女子短大の学生が、水門川で練習する様子。

岐阜新聞 平成30年4月20日付掲載

迫力の音色、児童感動 大垣女子短大生 中川小で演奏会



大垣女子短大（大垣市西之川町）の音楽科の学生が、中川小学校で演奏会を行った。

大垣女子短大（大垣市西之川町）の音楽科の学生が、中川小学校で演奏会を行った。

大垣女子短大（大垣市西之川町）の音楽科の学生が、中川小学校で演奏会を行った。

岐阜新聞 平成30年6月3日付掲載

正しい歯の磨き方学ぶ

大垣市で 親子ら口内チェック



大垣市で、親子ら口内チェックの講座が行われた。

大垣市で、親子ら口内チェックの講座が行われた。

大垣市で、親子ら口内チェックの講座が行われた。

岐阜新聞 平成30年6月12日付掲載

ミナレク、さらに広げよう

県レク協会が「リーダー」養成講習



県レク協会が、ミナレク協会の「リーダー」養成講習会を開催した。

県レク協会が、ミナレク協会の「リーダー」養成講習会を開催した。

県レク協会が、ミナレク協会の「リーダー」養成講習会を開催した。

岐阜新聞 平成30年7月11日付掲載

事故の衝撃 想像以上

大垣女短大でシートベルト体験



大垣女短大で、シートベルト体験のイベントが行われた。

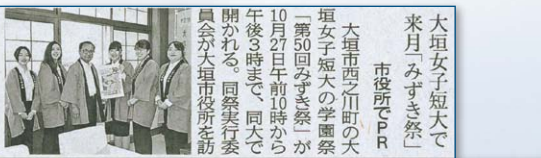
大垣女短大で、シートベルト体験のイベントが行われた。

大垣女短大で、シートベルト体験のイベントが行われた。

岐阜新聞 平成30年7月18日付掲載

岐阜新聞 平成30年9月28日付掲載

大垣女短大で 来月「みずき祭」



大垣女短大で、来月の「みずき祭」の準備が進んでいる。

大垣女短大で、来月の「みずき祭」の準備が進んでいる。

大垣女短大で、来月の「みずき祭」の準備が進んでいる。

50回記念、多彩な企画



大垣女短大で、50回記念のイベントが開催された。

大垣女短大で、50回記念のイベントが開催された。

大垣女短大で、50回記念のイベントが開催された。

岐阜新聞 平成30年10月27日付掲載

